

平成27年（2015年）7月23日

平和首長会議加盟都市首長 様

平和首長会議会長
広島市長 松井一實

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から平和首長会議の運営について御理解と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、今年は広島・長崎の両被爆地にとって被爆70年の節目に当たります。広島市においては8月6日に、長崎市においては8月9日にそれぞれ記念式典を挙行し、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者の切実なメッセージと核兵器廃絶の願いを世界に発信すると共に、70年前の凄惨を極めた地獄が三度繰り返されることのないよう、核兵器のない平和な世界の実現に向けた誓いを新たにす一日としたいと考えています。

そして、今や世界160か国・地域6,700を超える世界的なネットワークに拡大した平和首長会議の加盟都市の市民の皆様と、被爆者の思いを共有し、この被爆70年を機会に核兵器廃絶に向けた取組を一層強化していきたいと考えています。

つきましては、貴市の取組として、例えば広島・長崎の原爆記念日において黙祷を捧げる行事等、平和を祈念する取組の実施を御検討いただきますようお願い申し上げます。また、従前よりお願いしている平和首長会議行動計画（2013年－2017年）に掲げた取組の実施についても改めて御検討いただければ幸いです。なお、既に多くの加盟都市から様々な行事の実施情報（別添資料）をお寄せいただいていることを申し添えます。

被爆者の平均年齢が80歳を超え、被爆体験の風化が深刻な問題となっている中、若い世代に被爆の実相と平和への思いを伝えるとともに、「ヒロシマの心」を世界中に広めていくことは喫緊の課題です。是非とも、今後の活動について皆様と意見を交換しながら、力を合わせて更なる活動の進展のために努力しましょう。

敬具